

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

税の恵み

我孫子市立白山中学校 第三学年 小久保 まい

現在、パリでオリンピックが開催されていて、連日メダルの獲得で盛り上がっている。前回の東京オリンピックと異なり、コロナの感染が収束し、観客でいっぱいになったスタジアムで競技をする選手達をうらやましく思う。二〇二一年には、東京でも開催された。しかし、この東京オリンピックは、始まるかなり前から税金の無駄使いだと国民から騒がれていた。いったいどういったところが無駄だと言われていたのか調べてみた。国立競技場の建て直しが、設計の段階で問題になっていたが、一番大きな影響があったのは、やはり新型コロナウイルスの大流行による無観客開催であった。沢山の観客が入ると予想して、仮設スタンド、荷物検査の機器、熱中症対策のテント等が準備されていた。また、開催側の利益となるチケット販売も最終的になくなってしまう、大きな収入を得ることができなかった。

しかし、無駄無駄と世間で騒がれていたがそもそもオリンピックの目的は、国威発揚、人間育成と世界的平和であると私は考える。オリンピックを観て、選手一人一人が懸命にやり遂げる姿を見て、感動しなかった人はいたのだろうか。世界レベルの選手達の、限界を超える頑張りを見られる、貴重な大会だと思う。まあ、日本の選手が世界の中で金メダルを取った姿を見ると、やれば達成できる、夢はかなう、という自信をもらうことができる。だから、前回の東京オリンピックは無駄ではなかったと言えると思うし、ここに使われた税金も無駄ではなかったと私は思う。

私の家の税金についてはどうだろうか。私は習い事で車に乗り、遠くまで試合に行くことが多々ある。そのため、ガソリンを給油する回数が非常に多い。調べてみると、ガソリン税というものがあることを知った。日本は価格の約半分がガソリン税だという。半分が税金であることは、消費税よりもはるかに高く驚いた。しかし最近では電気自動車やハイブリッド車が普及し始めているため、今後ガソリンの需要が減っていくと考えられる。そうするとガソリン税はどうなるのだろうか？国の税收の三パーセントを占めているので、それを補うために新しく電気自動車税などが課せられるのだろうか。私の生活に関わる大事な事なので、今後の変化に注目していきたい。

私達日本人は子供の時、小学校中学校の九年間、税金によって教科書や用具等が用意され、支えられ教育を受けることができる。そして大人になって、子供の頃に養った知識・能力を使って一生懸命働き、税金を納め、国民を支える。そして年をとって老人になると、年金を受け取るようになり、再び税金に支えられる。国に納めた税金は、巡り巡って最終的には自分を助けにくれる。そのような流れでみると、どのような税金でも、納めることには意味があると考えられる。